

令和2年度 町立中標津病院 新経営改革プラン 実績

改革プランページ

P16 【医療機能等指標に係る数値目標】

		計画	実績	比較
町外患者受診割合(%)	外来	43.0	30.1	▲12.9
	入院	45.0	27.8	▲17.2
救急患者数(人)		700	509	▲191
手術件数(件)		800	874	74
分娩件数(件)		300	181	▲119
医療相談件数(件)		5,500	5,012	▲488

P17 【経営指標に係る数値目標】

		計画	実績	比較
許可病床数(床)		140	173	33
稼働病床数(床)		140	120	▲20
1日平均入院患者数(人)		112	93	▲19
1日平均外来患者数(人)		680	542	▲138
病床利用率(%)		80.0	50.5	▲29.5
入院患者1日当り収入(円)		41,275	42,395	1,120
外来患者1日当り収入(円)		8,785	9,497	712
経常収支比率(%)		104.3	99.0	▲5.3
医業収支比率(%)		82.2	76.0	▲6.2
職員給与費比率(%)		54.0	59.4	5.4
材料費対医業収支比率(%)		20.0	24.3	4.3
収益収支：純損益(百万円)		182	▲44	▲226
一般会計繰入金(百万円)			1,549	52
(下段：コア対策分除く額)		1,497	1,438	▲59

注) 病床利用率は許可病床で記載
実績許可病床 (R2.4.1～R2.8.31までは199床、R2.9.1～R3.3.31までは173床)

【診療科及び医師数】

		計画	実績	比較
診療科(科)		14	14	0
常勤医師数(人)		22	20	▲2

注) 医師数には会計年度任用職員医師を含む

P18 【診療科医師状況】

診療科	区分	計画	実績	比較
内科	常勤	4	5	1
	会計年度	1		▲1
小児科	常勤	1	1	0
	会計年度			0
外科	常勤	3	2	▲1
	会計年度	1	1	0
整形外科	常勤	2	1	▲1
	会計年度		1	1
産婦人科	常勤	1	1	0
	会計年度	2	2	0
泌尿器科	常勤	1	1	0
	会計年度			0
耳鼻咽喉科	常勤	1	1	0
眼科	常勤	1		▲1
皮膚科	常勤	1	1	0
麻酔科	常勤	1	1	0
精神科	常勤	1	1	0
放射線科	常勤	1	1	0
循環器科	常勤			0
リハビリテーション科	常勤	整形外科 医師兼務	整形外科 医師兼務	整形外科 医師兼務
合計	常勤	18	16	▲2
	会計年度	4	4	0
	合計	22	20	▲2

	計画	実績	比較
助産師	11	10	▲1
看護師	76	72	▲4
准看護師	17	16	▲1
看護助手	8	6	▲2
看護職計	112	104	▲8
医療技術職員	41	41	0
事務職員	17	16	▲1

注) 職員数は正職員のみ状況

P21【収支計画】

① 収益的収支計画

(単位：百万円、%)

年度		2年度 (計画)	2年度 (実績)	比較
区 分				
収 入	1. 医 業 収 益 a	3,406	3,122	▲ 284
	(1) 料 金 収 入	3,019	2,691	▲ 328
	(2) そ の 他	387	431	44
	うち他会計負担金	224	273	49
	2. 医 業 外 収 益	1,042	1,158	116
	(1) 他会計負担金・補助金	999	895	▲ 104
	(2) 国 (道) 補 助 金	5	221	216
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	16	20	4
	(4) そ の 他	22	22	0
	経 常 収 益 (A)	4,448	4,280	▲ 168
支 出	1. 医 業 費 用 b	4,144	4,106	▲ 38
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,839	1,856	17
	(2) 材 料 費	682	654	▲ 28
	(3) 経 費	1,359	1,348	▲ 11
	(4) 減 価 償 却 費	248	240	▲ 8
	(5) そ の 他	16	8	▲ 8
	2. 医 業 外 費 用	122	218	96
	(1) 支 払 利 息	58	54	▲ 4
	(2) そ の 他	64	164	100
	経 常 費 用 (B)	4,266	4,324	58
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	182	▲ 44	▲ 226	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)			0
	2. 特 別 損 失 (E)			0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	182	▲ 44	▲ 226	
累 積 欠 損 金 (G)	5,690	6,284	594	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	511	676	165
	流 動 負 債 (イ)	879	887	8
	うち一時借入金	200	570	370
	翌年度繰越財源 (ウ)		60	60
	当年度同意等で未借入 又は未発行の額 (エ)			0
差 引 不 良 債 務 (オ)	368	271	▲ 97	
	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$	104.3	99.0	▲ 5.3
不 良 債 務 比 率	$\frac{(オ)}{a} \times 100$	10.8	8.6	▲ 2.2
医 業 収 支 比 率	$\frac{a}{b} \times 100$	82.2	76.0	▲ 6.2
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率	$\frac{c}{a} \times 100$	54.0	59.4	5.4
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	589	589	
資 金 不 足 比 率	$\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	18.8	18.8
病 床 利 用 率		80.0	50.5	▲ 29.5

注) 流動負債 (イ) は、流動負債合計額から流動負債中の建設改良費等の財源に充てるための企業債額を控除した額

年度		2年度 (計画)	2年度 (実績)	比較
区 分				
収 入	1. 企 業 債	70	73	3
	2. 他 会 計 出 資 金	274	271	▲ 3
	3. 他 会 計 負 担 金			
	4. 他 会 計 借 入 金			
	5. 他 会 計 補 助 金			
	6. 国 (道) 補 助 金		207	207
	7. そ の 他			
	収 入 計 (a)	344	551	207
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)		60	60
	前年度許可債で当年度借入分 (c)			
	純 計 (a)-{(b)+(c)} (A)	344	491	147
支 出	1. 建 設 改 良 費	70	220	150
	2. 企 業 債 償 還 金	457	451	▲ 6
	3. 他会計長期借入返還金			
	4. そ の 他			
	支 出 計 (B)	527	671	144
収 支 不 足 額 (B) - (A) (C)		183	180	▲ 3
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	182	179	▲ 3
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額			
	3. 繰 越 工 事 資 金			
	4. そ の 他	1	1	0
	計 (D)	183	180	▲ 3
補 て ん 財 源 不 足 額 (C) - (D) (E)		0	0	0
当 年 度 同 意 等 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (H)				
実 質 財 源 不 足 額 (E) - (F)		0	0	0

③ 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位：百万円)

年度		2年度 (計画)	2年度 (実績)	比較
区 分				
	収 益 的 収 支	(225)	(118)	(▲ 107)
		1,223	1,167	▲ 56
	資 本 的 収 支			(0)
		274	271	▲ 3
	合 計	(225)	(118)	(▲ 107)
		1,497	1,438	▲ 59

注) 1. () 内は、基準外繰入金額

2. 地方創生臨時交付金を活用したコロナ対策に係る3条繰入及び4条出資金は、令和2年度地方公営企業決算状況調査表作成要領において、国庫補助金として取り扱う旨の指示があったことから、本表中においても、同様の方法で作成した。

P19【目標達成に向けた具体的な取り組み】

②医師等の人材の確保

ア. 医師の確保

- ・泌尿器科常勤医師を1名採用した。

イ. 医療スタッフの確保

- ・看護師確保を図るため15名に対し修学資金の貸付を行った。(貸付者 令和2年度:1名採用。)
- ・町内及び近隣2町の高等学校を訪問し、医療技術職員養成修学資金貸付金の説明会を行った。
- ・町内商業施設を訪問し、パネル展示など看護師募集のイベントを開催した。
- ・民間給与との格差是正により職員の新規採用強化を図るため、初任給調整手当制度を創設した。

③経営改革に富む人材の登用及び事務職員の人材開発の強化

- ・経営再建のため、病院経営コンサルタント業務を委託した。
(委託開始:令和2年4月1日 委託業者:特定非営利活動法人病院経営支援機構)

P20 ⑤病床利用率の向上

- ・9月に行った病棟再編により、慢性期(療養)病床全19床を廃止、急性期(一般)病床数を180床から173床に削減し、1月からは急性期病床のうち、8床を新たに回復期(地域包括ケア)病床として運用開始した。

- ・診療部と看護部の連携強化により効率的な地域包括ケア病床の運用を図るため、定期的にベッドコントロール会議を開催した。(令和2年度:16回開催。)

⑥地域連携の強化

- ・釧根管内の医療機関を訪問し、地域連携を強化するため当院の課題や、当院への要望などについて聞き取り調査を行った。
- ・医療機関向け広報誌「開陽 330°」を発行し、医療機関向けの広報活動を行った。

⑦経費の削減・抑制

ウ. 医療材料の適正管理

- ・医薬品ディーラーとの面談、価格交渉を継続して行い、診療収入に占める薬品費率が低下した。
(令和元年度:10.7% ⇒ 令和2年度:9.7% =▲1ポイント、効果額 対前年1,270万円減。)

【町立中標津病院運営委員会からの意見・提言】

- ① コロナ禍での運営で難しいところもあると思うが、新経営改革プランを引続き実行してもらいたい。